



炎向窯入口



煙のいい匂い



ぬくもりある器たち



炎とのやりとり



焚き口



ひらがなの“う”



ぐい呑みたちのひなたぼっこ



打越 一彦  
Kazuhiko Uchikoshi  
打越 ひろみ  
Hiromi Uchikoshi

一彦氏  
1957年唐津市鎮西町に生まれる。  
御庭窯・大杉皿屋窯で修業した後、2005年に開窯・独立。  
2012年鎮西町へ移転。

- 駐車場 (6台)
- 作業風景見学要予約
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

# 炎向窯

ヒ  
ナ  
タ  
ガ  
マ



唐津市鎮西町名護屋 4725 TEL.0955-82-6022  
hinatagama@if.tv  
<http://hinatagama.if.tv/>

「薪が焚ける環境の中、炎を見方にし、暖かさを感じられる作陶を志しています」パンフレットに記載された「炎向窯」への想いだ。素材を厳選し、最後は火の力で作品が決まる。炎とのやり取りが面白く、そこを楽しめるからこそ火にこだわると打越さんは語る。

北波多から鎮西に窯を移築され、新たな工房で作陶に取り組む。新しく作った窯で人間の力以上の作品を作りたいと意気込む。窯は自分自身であり、自分の熱のこもった作品がお客さんの手に渡って共感してもらえる瞬間はとても嬉しい。とても優しい色合いは、打越さんの人柄そのものだ。

炎を見方に、熱のこもった作品を。